

## 2022年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52307	保育内容(言葉) Teaching Methods of Child-care Contents (Language)	児玉珠美		共通	1	必修	1後期

## 科目の概要

本科目においては、領域「言葉」のねらい及び内容を踏まえ、1年前期「幼児と言葉」で学んだ子どもの言葉の発達に即して、言葉を育む保育活動を考案する計画力と実践力を身に付けることを目的とする。園生活における様々な子どもの言葉の問題の事例を通して、保育者の援助のあり方について考え、子どもが言葉で伝え、友だちや先生と心を通わせる楽しさを味わえる保育活動について学ぶ。また、絵本の読み聞かせやごっこ遊び等の教材を活用し、子どもたちが言葉による伝え合いの楽しさを実感できる遊びを援助していく実践力を模擬保育を通して習得する。学びの過程で課題を発見し、習得した知識を活用し、課題解決できる力を身に付ける。

学修内容	到達目標
① 領域「言葉」のねらい及び内容と指導上の留意点と評価の考え方を理解する。 ② 子どもの言葉を受け止め、表現を豊かにしていく保育者の援助や指導について、保育場面の事例を通して学ぶ。 ③ 子どもの言葉の発達を促す絵本やシアタースタイル等の教材について、活用方法を身に付ける。 ④ 人形劇公演を通して、言葉の表現の可能性について学び、自己の課題を発見する。	① 領域「言葉」のねらい及び内容と指導上の留意点と評価の考え方を説明することができる。 ② 子どもの言葉を受け止め、表現を豊かにしていく保育者の援助や指導について、保育場面の事例を通して考察することができる。 ③ 子どもの言葉の発達を促す絵本やシアタースタイル等の教材について、活用方法を身に付けることができる。 ④ 人形劇公演を通して、言葉の表現の可能性について学び、自己の課題を発見し、記述することができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例	
前に踏み出す力	主体性	自分自身の言語活動をみつめなおし、保育者として子どもたちのモデルとなるような言葉を日常的に使う努力をする。
	働きかけ力	
	実行力	課題レポートに、主体的かつ積極的に取り組みことができる。
考え抜く力	課題発見力	乳幼児の言葉を育むために、何をしていくべきか、常に省察し、課題を見出していく姿勢を持つことができる。
	計画力	
	創造力	乳幼児が楽しめる言葉を使った遊び等を考案していくことができる。
チームで働く力	発信力	授業中にまわりが理解しやすいように、自分の意見を整理しながら、述べることができる。
	傾聴力	授業中は、他者の発言に集中し、自分と異なる意見を尊重することができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	遅刻、無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。
	ストレスコントロール力	

## テキスト及び参考文献

テキスト： 絵本土専門委員会 独立行政法人国立青少年振興機構「認定絵本土養成講座テキスト」中央法規出版(1800円)・教員の作成プリント  
 参考文献： 無藤隆『はじめての幼保連携型認定こども園・教育保育要領ガイドブック』フレーベル館(1000円)  
 川勝泰介他編著『ことばの表現力を育む児童文化』萌文書林

## 他科目との関連、資格との関連

他科目との関連： 幼児と言葉・幼児と人間関係・幼児と環境・児童文化・乳児保育・保育実習Ⅱ・教育実習Ⅱ  
 資格との関連： 幼稚園教諭二種免許・保育士・認定絵本土・准学校心理士

学修上の助言	受講生とのルール
・日常生活の中で、言葉による伝え合いを大切にしていること。 ・子どもたちの言葉を育む多くの児童文化財に触れるよう努力すること。	・私語や勝手な言動をする学生は、授業を受ける権利はないとする。 ・授業態度(参加態度や出席状況)及び発表内容、提出レポートによって評価する。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント			
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
				④				
	平常評価	小テスト		0	①			
					②			
					③			
					④			
		レポート		30	①			<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業振り返りレポートを提出するので、自分の考察と授業を通して学んだ内容を記述しておくこと。</li> <li>・絵本読み聞かせ発表を通して絵本ノートを作成し、提出する。</li> <li>・DVD視聴後には、内容からの学びをレポートとしてまとめ、提出するので、視聴しながらメモ等をしっかりと取ること。</li> <li>・人形劇観劇後に感想及び自己の課題に関するレポートを提出する。</li> </ul>
					②		✓	
③					✓			
④								
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）			60	①		<ul style="list-style-type: none"> <li>・全員が絵本読み聞かせ発表に取り組み、今後の課題を明らかにする。</li> <li>・絵本の読み聞かせの表現をより豊かにするための工夫を考え、発表する。</li> </ul>		
				②				
	③			✓				
	④							
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	<small>（主体性）</small> 自分自身が言葉による伝え合いを大切に、保育者として子どもたちのモデルとなるような言葉を日常的に使う努力をすることができる。 <small>（実行力）</small> 課題に対し積極的な自主学修をし、できる限りの努力をもって完成させることができる。 <small>（課題発見力）</small> 乳幼児が言葉に興味関心を持つための保育者としての語りかけ方や、遊び等について考え、課題を見出していく姿勢を持つことができる。 <small>（創造力）</small> 幼児の言葉を育んでいく言葉遊びや児童文化を活用したオリジナリティある保育指導案を考案し、作成することができる。 <small>（発信力・傾聴力）</small> 授業中に他者が理解しやすいように、自分の意見を整理しながら述べることで、他者の発言に集中し、自分と異なる意見を尊重することができる。 <small>（規律性）</small> 遅刻、無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。			
			②	✓				
			③	✓				
			④					
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>レベルS（秀）は、学修内容のすべてにおいて十分な理解と主体的に課題を発見と解決に取り組む姿勢がみられ、筆記試験、レポート、社会人基礎力の総合評価において、非常に優れた評価を得ることを基準とする。</p> <p>A（優）は、学修内容のすべてにおいて十分な理解ができ、筆記試験、レポート、社会人基礎力の総合評価が優れた評価であることが基準となる。</p>	<p>レベルB（良）は、学修内容が理解できており、筆記試験、レポート、社会人基礎力の総合評価が、基本的な修得以上、到達レベルA（優）までの評価が基準となる。</p> <p>レベルC（可）は、学修内容が概ね理解できており、筆記試験、レポート、社会人基礎力の総合評価が基本的に習得できているという評価であることが基準となる。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	・保育所保育指針・幼保連携 認・定こども園教育保育要 領・幼稚園 園教育要領を通して、領域 「言葉」のねらい及び内容を 学ぶ。さらに、他領域との関 連について理解する。絵本の 読み聞かせ発表順を決定す る。絵本ノートについての説 明を受ける。	講義 グループディスカッ ション 授業内容の振り返りと 質疑応答	保育所保育指針・幼保 連携認定こども園教育 保育要領・幼稚園教育 要領に提示されている 領域言葉に関する事項 について理解し、概説す ることができる。	(予習) シラバスを読み、 疑問点を挙げておく。 (復習) 保育所保育指 針・幼保連携認定こども 園教育保育要領・幼稚園 教育要領に提示されてい る領域言葉について概説 できるようにする。	45	主体性 傾聴力 規律性
2	園生活における様々な 場面での声の表現につ いて、事例を通して、 適切な声の表現のつ いて考え、発表する。 様々な声の表現をす る。	質疑応答による前回授 業内容のフィードバック 講義 グループディスカッ ション グループ発表	園生活における様々な 場面での声の表現につ いて適切な声の表現の ついて考え、発表する ことができる。	(予習) 事例プリント について考え、まとめ ておく。 (復習) 課題プリント を記入し提出する。	45	主体性 傾聴力 規律性
3	絵本の読み聞かせにつ いて基本的な技法につ いて学ぶ。 学生相互に実際に絵本の 読み聞かせをし、意見交 換を通して、課題を明ら かにする。 絵本ノートを記入する。 書き方についての工夫を 検討する。	質疑応答による前回授 業内容のフィードバック 講義 グループディスカッ ション グループ発表	絵本の読み聞かせにつ いて基本的な技法につ いて理解することがで きる。絵本の読み聞か せについて、自己の課 題を明らかにすること ができる。	(予習) テキストP120 ～P142を読み、疑問点 を明らかにしておく。 (復習) 絵本ノートの 書き方について工夫点 をまとめる。	45	主体性 傾聴力 規律性
4	絵本と出会う①(はじ めての絵本との出会い) 乳 幼児を対象とした赤ちゃ ん絵本の特色や発達過 程に合った絵本の選 び方を学ぶ。地域等 での絵本を活用した 育児支援活動につ いて知る。 (認定絵本士講座)	質疑応答による前回授 業内容のフィードバック 講義 グループディスカッ ション グループ発表	乳幼児を対象とした赤 ちゃん絵本の特色や発 達過程に合った絵本 の選び方を理解する ことができる。地域等 での絵本を活用した 育児支援活動につ いて知ることができる。	(予習) 認定絵本士養 成講座テキストP64～ P69を通読し、疑問点 等を明らかにしておく。 (復習) 居住地域で の絵本を活用した育 児支援活動について調 べる。	45	主体性 傾聴力 規律性
5	絵本と出会う②保育・ 教育の場 保育・教育現場にお ける絵本の意義や活 動の具体的な取 り組みについて理 解する。 また、絵本と子ども をつなぐための保 育者・教員の援 助の在り方につ いて学ぶ。 (認定絵本士講座)	質疑応答による前回授 業内容のフィードバック 講義 グループディスカッ ション グループ発表	保育・教育現場にお ける絵本の意義や活 動の具体的な取 り組みについて理 解することができる。 絵本と子どもをつ なぐための保育者・ 教員の援助の在 り方について理 解することができる。	(予習) 認定絵本士 養成講座テキストP70 ～75を通読し、疑 問点等を明らかに する。 (復習) 今後の実 習等で取り組み たい絵本を 活用した保育活 動を考え、レ ポート提出す る。	45	創造力 発信力
6	絵本読み聞かせ発表① シアタースタイルの表 現についてグループご とに調べる。	成果発表 グループワーク グループディスカッ ション	シアタースタイルの表 現についてグループメ ンバーと協力して調 べるることができる。	(予習) シアタース タイルについての発 表ができるよう に準備する。 (復習) グループ 発表できるように 準備をする。	45	課題発 見力 創造力 発信力
7	絵本読み聞かせ発表② シアタースタイルの表 現について調べた内 容を発表する。	成果発表 グループ発表 全体討議	シアタースタイルの表 現について、調べた 内容を発表するこ とができる。	(予習) 人形劇につ いて、調べ、質 問事項等を考 えておく。 (復習) シアタ ースタイルの 発表内容につ いてまとめる。	45	課題発 見力 発信力 傾聴力
8	人形劇観劇会 鑑賞後に劇団員から のレクチャーと質疑 応答を通して、シ アタースタイルにつ いてより深く理 解する。	人形劇鑑賞 質疑応答	シアタースタイルにつ いてより深く理 解することができる。 振り返りレポ ートを提出す ることができる。	(予習) 人形劇につ いて質問したい 内容をまと めておく。 (予習) 観劇 会の振り返 り感想レポ ートを完 成し、提出 する。	45	課題発 見力 発信力 傾聴力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	絵本読み聞かせ発表③ 人形劇で活用されていたシアタースタイルについて振り返る。その他の活用方法について理解する。シアタースタイルの表現を導入できる絵本を選ぶ。	成果発表 グループディスカッション 絵本選択作業	シアタースタイルの表現と組み合わせること で、表現が豊かになる。 絵本を選ぶことができる。	(予習) 人形劇で活用されていたシアタースタイルについてまとめる。 (復習) 絵本へのシアタースタイルの活用方法を具体的に考える。	45	実行力 課題発 見力 傾聴力
10	絵本読み聞かせ発表④ 絵本の世界を広げる技法を学ぶ。絵本の読み聞かせをより豊かなものにするために、シアタースタイルの表現との組み合わせを考え、構成を作成する。	成果発表 質疑応答による前回授業内容のフィードバック 講義 グループディスカッション グループ発表	絵本の読み聞かせをより楽しいものにするために、シアタースタイルの表現との組み合わせを考え、発表に向けて構成等を作成することができる。	(予習) 絵本へのシアタースタイルの活用方法をまとめる。 (復習) 発表ができるように準備練習をする。	45	創造力 発信力 規律性
11	絵本読み聞かせ発表⑤ 絵本の読み聞かせへのシアタースタイルの活用方法について発表をする。	成果発表 グループディスカッション 全体ディスカッションによるフィードバック	絵本の読み聞かせへのシアタースタイルの活用方法について自分なりに工夫し、発表をすることができる。	(予習) 発表ができるように準備練習をする。 (復習) 他者からの評価内容を反映させ、構成等修正をし、提出をする。	45	創造力 発信力 規律性
12	絵本の読み聞かせ発表⑥ 絵本の世界を広げる技法を学ぶ。読み聞かせをより楽しいものにするために、音楽や効果音との組み合わせの具体例について学ぶ。選んだ絵本での音楽の活用方法を考え、発表する。	成果発表 講義 全体ディスカッションによるフィードバック	絵本の世界を広げる技法を学ぶ。読み聞かせをより楽しいものにするために、音楽との組み合わせを考え、発表することができる。	(予習) 音楽との組み合わせに適する絵本を準備する。 (復習) より効果的な音楽や効果音について検討し、レポート提出する。	45	課題発 見力 発信力 傾聴力
13	大人の心を豊かにする絵本 絵本が大人に与える喜びや慰めといった影響について理解する。子どもたちの家族である高齢者や療養や緩和ケアが必要であるといった保護者の様々な状況を想定し、絵本の役割を考える。 (認定絵本土講座)	前回の授業内容の振り返りと質疑応答によるフィードバック 講義 グループディスカッション グループ発表	大人にとっての絵本の意義について理解する。高齢者や療養や緩和ケアが必要であるといった様々な人達にとっての絵本の役割を考慮することができる。	(予習) 認定絵本土講座テキストP166～171を通読し、疑問点等を明らかにする。 (復習) 振り返りレポートを提出する。 30分(レポート)	45	課題発 見力 発信力 傾聴力
14	絵本の読み聞かせ発表⑦ 文字への関心を高め、文字で伝える楽しさを生み出す環境構成について考え、学ぶ。保育現場における言葉の指導と小学校の教科との繋がりについて学ぶ。	前回の授業内容の振り返りと質疑応答によるフィードバック 成果発表 講義 グループディスカッション グループ発表	文字で伝える楽しさを生み出す環境構成について理解できる。保育現場における言葉の指導と小学校の教科との繋がりについて理解できる。	(予習) 文字への関心を高める環境構成について発表できるようにしておく。 (復習) 授業内容を振り返り、園生活における文字環境の工夫等についてさらに調べる。	45	課題発 見力 発信力 傾聴力
15	授業内容を振り返り、理解が不十分な点についてグループで討議する。討議内容をふまえて、言葉を育む指導について、保育者をめざす上での今後の課題を見出し、振り返りシートに記述する。	前回の授業内容の振り返りと質疑応答によるフィードバック 成果発表 講義 グループディスカッション グループ発表	授業内容を振り返り、理解が不十分な点について見直し、今後の課題を見出すことができる。	(予習) これまでの授業内容を振り返り、理解が不十分な点について確認しておく。 (復習) 15回の授業の振り返りレポートを提出する。	45	実行力 課題発 見力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力